

仲間



内灘町立鶴ヶ丘小学校

5年 学年だより 第3号

令和8年6月30日(火)

梅雨明けが待ち遠しい季節となりました。早いもので、1学期も残りわずかとなりました。

4月に5年生としてスタートしてから3か月。子供たちは様々な場面で成長した姿を見せてくれています。学習では、自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりしながら、課題に粘り強く取り組む姿が増えてきました。また、委員会活動やつるサポ活動では、「自分にできることはないかな」と考えながら行動する姿も見られています。下級生に優しく声をかけたり、学校のために進んで働いたりする姿に、高学年としての頼もしさを感じています。

もちろん、毎日が順調なわけではありません。友達との関わりの中で悩んだり、失敗したりすることもあります。しかし、そのような経験を通して、相手の気持ちを考えることや、自分の行動を振り返ることの大切さを少しずつ学んでいます。

夏休みまであと少しです。1学期のまとめをしっかりと行い、一人一人が自信をもって夏休みを迎えられるよう支援していきたいと思います。



家庭科
裁縫の学習

～町音楽会を終えて～

6月10日、内灘町文化会館にて町音楽会が行われました。5年生は、合唱「ひまわりの約束」、合奏「茶色の小瓶」を発表しました。

練習を始めた頃は、自分のパートを覚えることや友達と音を合わせることに苦戦する姿も見られました。しかし、練習を重ねる中で少しずつ自信をつけ、互いの音や声を聴きながら演奏しようとする姿が増えていきました。

本番では、これまでの練習の成果を発揮し、5年生らしい温かくまとまりのある発表をすることができました。緊張した様子の子供たちでしたが、演奏後には達成感に満ちた表情も見られました。

音楽会を通して、仲間と心をつなげて取り組むことの大切さや、努力を積み重ねることの大切さを学ぶことができました。この経験を今後の学校生活にも生かして欲しいと思います。

